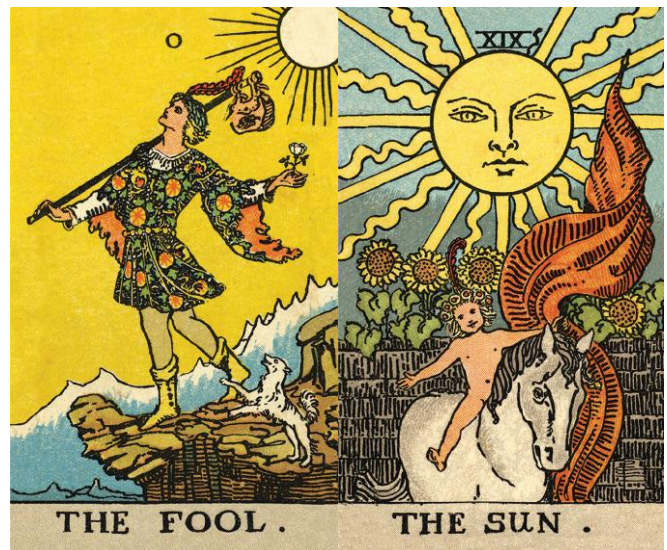


【易道学校 タロット 2018年1月開設講座概略】

ウェイト版基礎科（大アルカナ講座）

タロットには大きく二つの流派があります。ひとつが最も人気があり、標準的なタロットとして各所で高く評価されているウェイト版。ウェイト版は、第二次大戦後にイギリスで刊行されて以来、またたく間に世界中に広がり多くのタロット愛好家を魅了してきました。タロットその物の歴史は中世期にまでさかのぼりますが、その古いタロットを現代人向けに解りやすく、神話や宗教的なシンボルを豊富に取り入れてアレンジしたのが精神世界研究家アーサー・エドワード・ウェイト氏です。ウェイト氏のタロット＝ウェイト版の愛称で親しみ続けられているこのタロットの絵柄の意味などは、今や誰でもネットサイトや書籍で調べることができるものでしょう。しかしながら、それらは理解したはずなのに、実際になかなかタロットを使いこなせない、くり出した札でかえって悩んでしまうというお声も寄せられます。本講座では毎回下記3つのポイントに絞った現実生活に役立つタロット占いをお伝えしてまいります。

- 1 占的の立て方
- 2 相談内容に沿った展開法の選び方
- 3 切り札と最終札と取り扱い方



ウェイト版のみならずマルセイユ版にも、さらには他のあらゆるタロットに応用可能なオールラウンドな力を養える講座です。どうぞふるってご参加下さい。もうひとつの流派マルセイユ版は2018年秋頃開校予定なので、タロットを基礎から学びたい人はまずウェイト版で助走しましょう。

日程：2018年1月開講、第一・第三木曜日 14～16時 全24回で修了

講座内容詳細：毎回1枚の大アルカナを取り上げ、絵柄の解説、読み解き、実践的な鑑定に取り組みます。